

人権が尊重される明るい社会にむけて

男女差別、人種差別、部落差別などのさまざまな差別や、子どもへの虐待、女性へのセクハラ・DV(ドメスティックバイオレンス)、高齢者や障害者への偏見など人権に係わる問題が数多くあります。

私たち一人ひとりには個性があり、それぞれが生活環境や考え方も違っています。それゆえに、一人ひとりがかけがえのない存在として尊重され、国籍、性別、年齢、職業、障害などによって差別されることなく、地域社会の中で自分の意志や判断に基づいていきいきと暮らしていけるよう、それぞれの文化や習慣を理解し、お互いの違いを尊重して共に生きていく明るい社会をつくっていかねばなりません。

そのためには、一人ひとりが人権問題を自分自身の問題としてとらえ、日常生活の中でお互いの人権を尊重し合い、あわせて人権尊重の心を培っていくことが大切です。

今年も9月から10月にかけて、各分館において「分館人権学習会」を開催します。

「人権」についてあらためて考えていただく良い機会ですので、大勢の皆様のご参加をお願いします。

図書室だより

お願い 返却期限は守りましょう。本の予約待ちをしている人もいますので借りた本は期限内に返却をお願いします。

教育委員会

新着図書

自由研究

きむらゆういち・みやもとえつよしのガラクタ工作 全12巻
(自然物・牛乳パック・ペットボトル・プラ容器・ティッシュ箱 他)
きむら ゆういち・みやもと えつよし (著) チャイルド本社 (出版)

夏休みは図書室を活用しよう!!

工作

読書感想文

平成25年度 長野県課題図書

- ちょっとだけタイムスリップ
- ゆびわがくれたプレゼント
- 糸子の体重計
- おまけ鳥

- 花田 鳩子 (作) PHP研究所 (出版)
- 田沢 五月 (作) ポプラ社 (出版)
- いとうみく (作) 童心社 (出版)
- 飯田 朋子 (作) 新日本出版社 (出版)



お知らせ

「ちゅうりっぷの会」による

乳幼児のためのおはなし会

日時 8月28日(水) 午前10時30分～

場所 中央公民館 視聴覚室

対象 0歳児～

大型絵本・パネルシアターなど

親子でお楽しみください!

はだしのゲン「わたしの遺書」

中沢 啓治 (著) 朝日学生新聞社 (出版)

原爆で父、姉、弟、妹を亡くした著者は、母の死をきっかけに、戦争責任と原爆の問題に向き合うようになる。

「はだしのゲン」を生み出した漫画家が、実体験をもとに原爆の怖さと不屈の人生を語る!!



「島惑ひ」琉球沖縄のこと

伊波 敏男 (著) 人文書館 (出版)

私たちにとって沖縄は、どのような存在なのか?そして沖縄にとって、「日本」とはなんだったのか…

人間の尊厳を問い続けてきた沖縄県出身の著者が、自らの一族の物語を軸に、明治から今日までの沖縄の近現代史を描く。



図書室利用案内

開室時間

●月曜日～土曜日 午前9時30分～午後6時
(土曜日は午後5時)

●日曜・祭日 午後1時～午後5時

*お一人 4冊まで 2週間借りられます

立科町公民館(教育委員会 社会教育人権政策係) 有線 4000